

令和8年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	佐渡・国際臨海実習コース「International Marine Biology Course」		
実習内容	<p>本実習では、多様な海岸環境が見られる佐渡島の美しい海を舞台に、アジア各国の大学生・大学院生とともに海洋生物の多様性とその進化について学ぶ。磯でのシュノーケリングを始めとする様々な手法で生物を採集し、観察・同定を通して海洋生物の多様性とその進化について学ぶ。また、海洋マイクロプラスチックの採集やトキの野生復帰事業に関連する施設の見学を通して、人間活動と生態系のかかわりについて学ぶ。最後に、観察結果をグループで討論・発表し、参加各国の学生間の国際交流を深める。</p> <p>【海洋生物採集・観察】 シュノーケリングによる磯生物の観察・採集 たも網を用いた岸壁での夜行性海洋生物の灯火採集 実習船によるプランクトンネットを用いたプランクトン採集と海洋データの計測 ウミホタルの採集および生物発光の観察 砂浜海岸でのマイクロプラスチックの採集と観察</p> <p>【講義】 佐渡の海の特徴と海洋生物の多様性、系統分類、外部講師による特別講義</p> <p>【発表会】 グループおよび個人による、生物の観察結果・考察の発表</p> <p>※ 本実習はアジア諸国の大学生を対象とする国際臨海実習との合同開催であり、基本的に英語で進行する。ただし、必要に応じて日本語によるサポートも行うため、学部生でも参加可能である</p>		
実習内容キーワード	シュノーケリング、磯採集、プランクトン、生物多様性、進化、形態、系統分類、海洋観測		
担当教員氏名・所属・役職名	安東宏徳（臨海実験所・教授）、大森紹仁（臨海実験所・准教授）、川坂健人（臨海実験所・特任助教）		
協力教員氏名・所属・役職名	国内外の大学から複数名の外部講師を任用予定		
対象学生・学年	国公立大学の学部1～4年生（大学院生も可）	開講期間	2026年7月23日(木)～27日(月) 4泊5日 (海外からの学生の受入れ状況により、中止または日程を変更する可能性がある)
開講大学・施設名	〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87		
施設の住所	新潟大学・佐渡自然共生科学センター臨海実験所		
電話	0259-75-2012	F a x	0259-75-2870
e-mail	hando311@cc.niigata-u.ac.jp	Web Site	https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/
交通案内	新潟港から佐渡汽船を利用して佐渡島に渡り、佐渡両津港にて集合。両津港－臨海実験所間の移動は、実験所がチャーターバスを用意する（無料）。直江津－小木航路の利用については、事前連絡があれば公用車で小木港までの送迎を行う。		
費用	約 11,500 円（施設使用料、実習期間中の食費、寝具クリーニング代）		
授業科目名	臨海実習Ⅱ		
単位数	2 単位	定員数	約 6 名
授業料の徴収について	授業料は徴収しない。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	<p>申込締切：2026年6月12日（金）</p> <p>応募書類は期日までに新潟大学理学部学務係へ必着。定員を超えた場合は、締め切り後に抽選により決定する。申し込み方法の詳細は臨海実験所ウェブサイトの「公開臨海実習」ページを確認すること。</p>		
選抜結果連絡法	書面とメールにより本人に直接連絡する		